



ひょうしおまつり・桜鯛まつり



▲鳴門海峡のうず潮を間近で楽しむ観潮船の乗客

南あわじ市観光協会

春の観光シーズン到来を告げる、淡路島びらき「うずしおまつり・桜鯛まつり」(南あわじ市観光協会主催)が三月四日開幕し、なないろ館や観潮船で式典が行われました。一年で一番大きく渦巻く迫力満点の鳴門海峡のうず潮と、急流で育った桜鯛や新鮮な海の幸などをPRしようとして、毎年開催されています。なないろ館前の観潮船乗り場では、関係者約三十人が出席して安全祈願神事や式典が

行われ、続いて「うずしお娘」の杉理恵子さんと松尾章子さんがうず潮観潮船の一日船長に任命されました。

観潮船咸臨丸の船上では、三百人の観光客とうずしお娘が、ロープで結ばれた酒樽を流して航行の安全と大漁を祈りました。また、咸臨丸とヘリオスのデッキからは観光客が鯛を放流しました。

同まつりは、五月三十一日まで開催されます。期間中には、宿泊券や食事券などが当たるクイズラリーが観潮船乗り場や大鳴門橋記念館、道の駅うずしおなどで行われます。

伝統芸能を披露

市内に伝わる伝統文化を継承する子どもたちによる「第三回南あわじ市子ども伝統芸能発表会(南淡路だんじり唄交流実行委員会主催)」が二月二十四日、西淡公民館で開催されました。

南あわじ子ども伝統芸能発表会

初出場の広田小学校郷土芸能部が「五尺踊り」、市村小唄保存会が「市村小唄」を披露しました。小林健司実行委員長はあいさつで「地域の方々の協力によって伝統芸能が守られています。伝統芸能の宝庫、南あわじ市の子どもたちの力強い演技を期待します」と述べました。



▲稲田南郷土芸能こども教室による「きつねおどり」

淡路瓦が地域ブランドに



▲地域ブランド「淡路瓦」をPRする福原理事長

淡路瓦工業組合

「淡路瓦」が特許庁の地域団体登録商標(地域ブランド)に認められました。地域ブランドは地域名と商標を組み合わせた商標で、競争力の強化と地域経済の活性化を目的に昨年四月、商標法が改正され、農協や事業組合などの団体に限り登録基準が緩和されました。これを受けて昨年五月、淡路瓦工業組合(福原幸蔵理事長)が同庁に商標を申請し、二月九日付けで認証を受けました。

淡路瓦の商標は、同組合に加盟する島内百四十事業所が島内で製造する「いぶし瓦」と「陶器瓦」の総称として使用が認められます。淡路島は、三州瓦(愛知県)、石州瓦(島根県)と並ぶ三大瓦産地で、いぶし瓦の生産量は全国の約四十五割を占め、全国一位を誇っています。

福原理事長は、「淡路瓦のブランド名をより広く浸透させ、種類の多さや、高い品質の淡路瓦のPRに務めてイメージアップを図りたい」と話されました。

緑税を活用し公園整備

地域の人々が散策に訪れる穀内山頂上の八坂神社周辺を美しくしようと、北阿万の伊賀野自治会(西野正己会長)では三月四日、八坂公園で植樹活動を行いました。費用の一部は、県民緑税を財源とする県民まちなみ緑化事業を活用しています。

伊賀野自治会

公園は、同自治会(百九十戸)が所有する約二千平方メートルが一部で管理が行き届かず、雑草が生い茂っていたことから、集落で植樹を計画し、同事業へ申請しました。この日は、集落の役員約四十人が協力して、桜や楠、クスギなど周辺環境に調和した六種類の樹木合計六十本の植え付け作業を行いました。作業を終えた西野会長は、「みなさんの協力で、公園が美しくなりました。神社への参拝のときに、楽しんでもらえるよう大切に育てたい」と話されました。



▲苗木を植える伊賀野自治会の皆さん

同事業に関する問い合わせは、生活環境課(☎43・5024)へ。

散歩で世代間交流

みなとウォークラリー

スポーツクラブ21みなと(平本雅俊会長)が主催する、「みなとウォークラリー」が3月4日、湊小学校を出発する2コースで行われ、2歳から90歳までの約90人が参加しました。この催しは、同クラブが健康づくりと世代間交流を目的に昨年度から開催しているもの。お母さん、おじいちゃんに参加した清水大くん(湊幼稚園)は「すごく楽しかった。もっともっと歩きたい」と完歩賞を手に笑顔で話していました。完歩後には温かい豚汁の振舞いも行われました。



▲好天のもと和気あいあいとウォーキングを楽しむ参加者

せんべいダンスコンテスト入賞

八木保育所

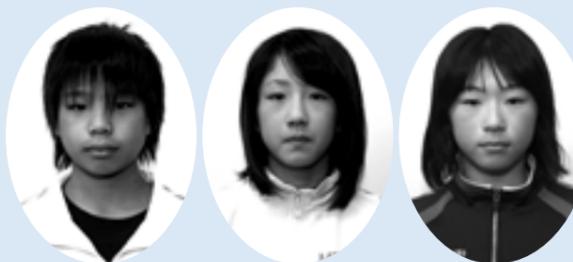
南あわじ市八木保育所の園児が踊る創作ダンスがコンテストに入賞し3月5日、保護者に披露しました。亀田製菓主催の「第4回おせんべいの国でダンスダンス振り付けコンテスト」。全国から535チームが参加しました。約3分の課題曲に合わせて保育士が振り付けをして、1か月間練習。撮影したテープを応募したところ、年長児29人のメロン組がニコニコ賞を受賞しました。



▲元気良さを体いっぱい表現するメロン組のダンス

おめでとう

水泳・ジュニアオリンピッククに出場



▲山口くん

▲田原さん

▲中尾さん

西淡スイミングスクール所属の中尾玲華さん(辰美小六年)、南あわじスイミングスクール所属の田原奈さん(神代小六年)と山口英輝くん(八木小五年)が、三月二十七日から東京辰巳国際水泳場で開催された全国JOCジュニアオリ

南あわじ市連合自治会に感謝状

ンピックカップ春季水泳競技大会に出場しました。

三月十三日、神戸市のラッセルホールで行われた兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)促進会議の席上、南あわじ市連合自治会(芝壽浩会長)に、井戸敏三知事から感謝状が手渡されました。

市連合自治会は、平成十七年十一月に同推進会議に登録し、各自治会を通じて市内全戸に加入申込書を配布するなど、加入促進に大いに貢献。市内での加入率が十六・二％(三月十日現在)となりました。

加入はお済みですか? 「フェニックス共済」

掛け金年額5,000円で自然災害時の住宅再建に最高600万円を支給。郵便局でも申込みができます。☎総務課☎43-5001

